

第62回横浜市都市美対策審議会景観審査部会議事録	
議 題	議事1 「まちを楽しむ多彩な交通」における景観形成について（審議） 議事2 その他
日 時	令和3年4月5日（月）午後7時59分から午後8時57分まで
開催場所	横浜市役所18階 共用会議室みなと6・7 ※WEB会議形式
出席委員 （敬称略）	国吉直行、加茂紀和子、小林 徹、野原 卓、矢澤夏子、山家京子
欠席委員 （敬称略）	福岡孝則
出席した 書記	榊原 純（都市整備局地域まちづくり部長） 梶山祐実（都市整備局企画部都市デザイン室長） 吉田和重（都市整備局地域まちづくり部景観調整課長）
関係者	【議事1】 関係局：黒田 崇（都市整備局企画部企画課長） 原田博志（都市整備局企画部企画課担当係長） 事業者：泉陽興業株式会社 株式会社石井幹子デザイン事務所
開催形態	公開（傍聴者：3名）
決定事項	【議事1】 駅舎及びゴンドラの夜間照明を現地で確認し、提案の内容について一部変更のうえ了承する。
議 事	議事1 「まちを楽しむ多彩な交通」における景観形成について（審議） 議事1について事務局、関係局及び事業者から説明を行った。 （国吉部会長） ありがとうございました。それでは、審議に入らせていただきます。3つの部分を現場で検証したということになります。まず、個別に入る前に、全体として現場を見てどうだったかという印象をお聞かせいただいて、それから個別についてまた確認したいと思います。それでは、小林委員から。 （小林委員） 全体的には、非常に街の中に溶け込んでいて、強く主張するというのではなく、うまくいっているのではないかと感じました。ゴンドラの部分も横からは本当に暗くて見えない形になっておりますので、そのあたりも溶け込んでいると感じました。以上です。 （国吉部会長） 分かりました。加茂委員、いかがでしょうか。 （加茂委員） 私も同じ意見ですが、ゴンドラの光も蛍のような光といいますか、周りに比べると落ち着いたような形で、ただ、時々キラキラしたり、オーロラのようになったりですね。資料の写真だと光って反射して、ゴンドラの形が見えているようですが、実際は光の部分だけがワッと出てくるような感じで、それも非常に上品だと思いました。 （国吉部会長） 矢澤委員、いかがですか。 （矢澤委員） 周りに溶け込んでいるというのはお二方のご意見と同じですし、実際に乗ってみて楽しいというのでしょうか、全体的にわくわくするような気持ちになったので、景観だけではなくて企画としてとても成功しているのではないかと感じました。以上です。 （国吉部会長） 野原委員、いかがですか。 （野原委員） 私もいろいろご尽力いただいた結果を含めて、駅舎の方もそんなに気にならないように淡くしていただいていると思います。ゴンドラについては、例えばこの市庁舎の3階からも脇に見えたり、万国橋の上からも見えたり、見える位置がいろいろあるので、もう少し全体としてどうかということは確

認できると良いのかなと思いましたが、総合的にはよくご尽力いただいていると思えました。ただ、図らずも周りの照明がいろいろ気になってきてしまうというか、これが入ることによって、このみもとみらいを含めた全体の照明のあり方というものに逆に目が行くというところも含めて、全体のあり方は少しこれから議論が必要なのかなとは思いました。

(国吉部会長)

ありがとうございます。このロープウェイについては、昼間も含めて、周辺に新たにできたマンションへの光害をできるだけ抑えることを前提で進めていただきたいということは、このプロジェクトを通じて景観審査部会としてもずっと申し入れてまいりました。その辺について、本日現場で見て、側面はほとんど光がないという状態で、マンションなどに対する影響は非常に抑えてあると。その中で、前後に蛍の光のような感じで光がこんもりと少し動きながら展開しているという状況で、北仲地区に対しては相当抑えられている、きちんとやられている感じは皆さん認識いただけたと思います。あと、運河パーク側の駅舎については、今、野原委員がおっしゃったような点も含めて、後ろのワールドポーターズの上の光がかえってまぶしいという感じが私もして、全体としての光には少し課題があるかなと感じましたが、駅舎そのものについては、実際は資料の写真で見ると非常に抑えてあるなという感じはあったと思います。一番大きかったのは、桜木町の駅舎について、これはある程度新しい施設としてアイキャッチを持った方がいいということと、全体の中であまり主張しない方がいいということで、どういうバランスを取るかということだったと思います。その辺について、皆さん、以前のプレゼンテーションでは少し光が強いのではないかということと、事前にたまたま都市デザイン室の方々と現場で実験しているのを拝見したときに、3色が少し強いのではないか、その辺を工夫いただけないかと申し上げていて、それが前回の審議会でも出てきた意見として、課題として投げ、受け止めてもらったわけです。その結果を本日、以前提案されたものと、少し淡くしたものと、それを10分置きに展開するというプレゼンテーションだったと思います。一番課題だったのは桜木町の駅舎かと思いますが、その前に、ゴンドラについては何か課題が残ったのでしょうか。おおむねよろしいと考えてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(国吉部会長)

大丈夫ですね。それでは、ゴンドラの光演出については、おおむね確認して妥当だということで評価したいと思います。

運河パーク側の駅舎についてはいかがでしょうか。現場で見た感じで、何かご意見がございましたら。何か課題等が残るようでしたらご意見をと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

(国吉部会長)

ありがとうございます。それでは、やはり最大の議論となった桜木町の駅舎について、前回の案から、それぞれの色によって白い色を少し付加していった感じにして柔らかみをつけるという工夫を、それぞれの白の混入の割合は違ったようですが、加えていきました。それについてはいかがでしょうか。その結果をどう評価するかということですが、加茂委員、いかがですか。

(加茂委員)

白を混ぜることで結構柔らかい色になっていることは十分に認められたと思います。演出はとても重要だと思いますし、これは質問ですが、今後、LEDが仕込まれた部分は、例えば色をイベントのために変えるとか、そういうことは可能な装置なのですか。それとも、この色で決まりですか。

(泉陽興業株式会社)

簡単に変えられるわけではないですが、性能としてはフルカラーですので、可能ではあります。

(加茂委員)

そうですね。ニーズによっては変わるのかなという気がしましたが、ある程度ああいふふうにして色をつけていくというのはありな話だと私は思いました。この写真より、周りが結構明るいというか照らされているので、逆にコントラストはこんなについていないと思いましたが、特に問題ないと私は理解いたしました。

(国吉部会長)

ありがとうございます。ほかの委員、いかがでしょうか。小林委員。

(小林委員)

前回だと結構主張しているなというのがありまして、一方で、それで視認性を高めるのかという感もあったのですが、配色でホワイトが乗ったので、それが非常に薄まりました。一方で、1階にロゴが入ったりして、視認性と絶妙なバランスをうまく取っていただいたのかなと評価しております。

(国吉部会長)

野原委員。

(野原委員)

私も、淡いホワイトを入れていただいたことで柔らかさが出て、鋭さが軽減されて良い方向になったのではないかと思います。一点だけ気になったのは、むしろ通常演出の光の方が強いと言うか、色温度が若干高めで少し白いのかなと思ったので、そのあたりをもう少し抑えることで、逆にこの演出が生きてきたりすることもあるのかなということが少し気にはなりました。でも、全体としてはご尽力いただいて良かったと思います。

(国吉部会長)

通常演出というのは、現在の提案では10分・10分の間の光ですね。分かりました。ご意見として賜っておきます。矢澤委員、いかがでしょうか。

(矢澤委員)

駅舎の看板が結構明るく発光していたので、視認性としては十分かと思いました。

(国吉部会長)

前回の写真では仮囲いもついた状態で、一般の人のアクセスで視認性があるのかどうかということで、本日、それに対して確認したということだと思います。

私も隣にある民間建物のコレットマーレのグリーンとか、そういうものと比べて少しこちらはソフトになったというか、向こうが結構きついなという感じがありました。そういう意味ではコレットマーレの方をもう少し柔らかくしたらどうだと逆に感じました。街の色というのは、やはり一つ一つだけでやっている主張しがちであって、複数出てくると相当全体を抑えていかないと、今後また何か増えてくるとそれが干渉し合っ過ぎてらついてくるような感じがあります。こちらは少し落ち着いて良くなったのですが、逆に先ほど言ったワールドポーターズの光とか、周りの色がちょっときついなという感じで目立ってきたということで、その辺については景観審査部会の委員から全体の調整も少し考え方を出していった方が良いのではないかという意見がありました。今後の地域の光の課題として、これは都市デザイン室でも新たに方針を出そうとしていますので、そういう中でも考えていって、それに沿って周りも含めて調整していくとか、そういうこともやってはどうかと思います。私自身も、光については白を混ぜたことによって、かなりきつい感じがあったのが非常にマイルドになって良かったと思っています。

それで、本日の提案は10分ということでしたのですが、本日は計画された石井幹子デザイン事務所さんも来られているわけですが、実は現場で石井先生が、10分・10分で演出照明を行っているけれども、光をこれだけ柔らかくソフトにしたので、これをもう少し長く、あるいはずっと続けるということもあり得るのではないかと、その辺ももしあったらご意見をお聞かせいただきたいと、正式な提案かどうかは別として意見がありました。これについては、事業者の泉陽興業さんあるいは石井幹子デザイン事務所さんから何か問題提起はありますでしょうか。先ほど野原委員から、その10分間の色はあまり良くないみたいなご意見もありましたし。

(泉陽興業株式会社)

そうですね、淡い光ですし、計画者側としてはできるだけ多くの方に見ていただきたいという気持ちがありまして、できるだけ短いピッチにすれば見ていただく期間も多くなるのかなということで10分・10分という設定をさせていただいているのですが、フルタイムでつけている方が多くの方に見ただけなので、事業者としてはそれがありがたいとは思っています。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

通常の方は3,000Kの色味なのですが、3色でつくる3,000Kの色味というのが、かなり調整したのですけれども、似せることが難しかったです。あれが割と精いっぱいなところなので、こちらサイドも少し気にはなっていて、きれいに3,000Kでつかないのであれば3色の方が良いのかなという印象があります。

(加茂委員)

白自体、調整された白の色は非常にきれいな色なのですが、さっきもちょっとお話ししたのですが、通常LEDの色と白の色が違うのです。だから、何かちょっと白けるというか、そのところが、え？という感じに見えてしまいます。であれば、色を入れた状態を通常にしてしまった方が良いのかなと、印象としては思いました。

(国吉部会長)

私自身としまして、10分・10分で交互に変えていくのがかえってうるさいのではないかと感じているのですが、その辺と、先ほど各委員から中間の3,000Kの光に少し違和感があるというような意見があって、そうしたときに、加茂委員もおっしゃった、あの光を使ってもう少し白っぽい色にしていくみたいな、3,000Kの光が別のものとして出てくるのではなくて、今の発光体の中で出てくる白っぽいもので連続感を出せるような光というのができるのかどうか。あるいは、全体にあまり小刻みに変えるのではなくて、20分でやって、その中で2、3分置くぐらいの感じで、全体としてはその中間が、とにかく3,000Kのあの光は別の光で連続性がないということで、同じくあの3色を作っている連続の中の少し白っぽい色であるとか、そういうことはあり得ないのかという感じはしたのですが、事務局何かありますか。

(梶山書記)

もともと3,000Kというのがこのエリアの通常の照明の考え方としてあって、その中で3,000Kのものとしてでないものをバランスよく入れていただくというところがあったのですが、今見ていただいた3,000Kの方の色合いがあまりよくないという中で、通常時の3,000Kの代替というのでしょうか、どのように作っていくかというのは悩ましいところがあります。ほかのいろいろな周辺との協議と比べるとどうするかということがあると思うのですが、ただ、やはり今の状況があまりよくないという中では、3,000Kの光の代替としてどういう形でやっていくかと。どちらかという、今の案をそのままというよりは、通常時と言っているものの作り方みたいなものをどう考えるかというあたりの調整はあるかと思うのですが、すみません、今日はエリアの担当が来ていないこともありまして、その辺とも調整する必要があるかと思えます。

(国吉部会長)

そうすると、ここでは10分の3,000Kの光がベースですと。それに、残り10分のところは演出照明ですという考えで進めるべきという立場なのですか。

(梶山書記)

今ご提案いただいたのは、そういうつもりでご提案いただいていたというところはあります。

(国吉部会長)

ただ、白っぽく、一様におとなしく淡い色にさせていただいて、環境に対して光の質としては良くなった、魅力的になったという感じはします。それが3,000Kという形でぼんと出てきて、非常に違和感があるとしたときに、あそこで白い色を混ぜて落ち着きを出そうとしていたわけです。その白い色が前面に出てくるような連続するような光で、10分・10分がふさわしいかは分かりませんが、少し短くしてでも変えていくのであったら、そういう混ぜ方でつなげるというのは技術的にあり得ないかどうか。それは石井幹子デザイン事務所さん、いかがですか。そういうやり方はあるのですか。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

ピッチを短くするということですか。

(国吉部会長)

ピッチを短くするというよりも、3,000Kの光がぼんと別物として出てくるのではなくて、今の3色の展開の延長線上で白っぽくしていくような光というのは作れないのですか。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

作れないことはないと思いますが、一応3色がテーマカラーになっておりますので、ほかの演出に展開していくよりは今の3色をずっとつけている方がまだ良いのかなとは思いますが。

(国吉部会長)

光源は、3,000Kと今の3色は同じなのですか。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

それは全く違います。3,000Kは3,000K専用の色がありまして、RGB——レッド・グリーン・ブルーでつくった3,000Kの色というのは白色も入っていますが、白色だけで作っているわけではなくて、白色にほかのRGBも少し加えてなるべく近づけた色にしています。ただ、やはり素子が違うとどうしても発光の仕方が違うものですから、近づかないというか。人間の目の精度の方が高くて、違和感が出るのかなとは思いますが。

(国吉部会長)

今申し上げたのは、3色を構成している光源で白色に近いものを構成してやった方が連続すると、白っぽくなったときも調和するのではないかということで申し上げたのですが、そういうことはできないのですか。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

一応調整済みという形です。本日ご覧いただいたのは、本当の真っ白の白色だけ使っているわけではなくて、ちゃんと全て混ぜて、電球色に近づけた色としてご覧いただいているものですから、あれ以上近づかないというのが現状となります。

(加茂委員)

3,000Kというのは、要はトイレの前だとかその辺りに使っている一般的なLEDで3,000Kの色が指定されていて、それにRGBのLEDでその色に近づけた白を使ったものを常態の色にしようということで本日見せていただいたのだと思います。それは、一生懸命やっても結局、RGBでつくった色と実際の1色の3,000KのLEDの色はどうしても違ってしまうという問題があるということですよ。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

違います。必ずしも作れないので。

(国吉部会長)

その中間の白色のときも同じシステムで光を出せないのですか。

(加茂委員)

国吉部会長はもっと白っぽいブルーとか、もっと白っぽい赤が出ないのかとおっしゃっているということです。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

そういうことですか。

(国吉部会長)

ですから、それでは3色の光の構成の仕方です白っぽい色を構成するということはできないのですか。

(野原委員)

今回の3,000Kの光がそもそもそうなのですかということなのではないですか。RGBを使った白が今回手前でやっているものなので、多分国吉部会長がおっしゃっているような色が本日見た色だということなのですよ。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

そういうことです。

(野原委員)

だけど、逆に奥の方に違う光が入っているので、そこに2色あるように見えてしまうという。

(加茂委員)

2色になってしまうのですよね。

(国吉部会長)

その10分はそうなっているわけですね。

(加茂委員)

なっています。だから、常態のときに2種類の白が見えてしまっているという状態で、しかも電球色の方がぱっと強く白く見えてしまっているんで、こちら側の白が残念な色になっています。とても大変なことをやっていると思うのですが。

(国吉部会長)

基本的には、その3色については良いと評価するのですが、今言ったようなことがあって、私は10分の白が間の抜けた感じがして、石井幹子さんとしては少し柔らかくしたので、せっかくなら多くの人に感じてもらった方が良くはないかと自信を持っておっしゃっていたので、そうすると、少し3色の時間を長くして、このシステム自体を保持しつつ割合を変えて、できるだけ先ほど言った17対3とか、そのぐらいの時間比でやるとか、少し長くしても良いかなという感じはしました。それは、事業者としては望む方向ですよ。

(泉陽興業株式会社)

10分・10分ではなくて、例えば5分・15分とか。15分の方が3色ということですよ。

(国吉部会長)

その時間を少し長くしてというのが石井幹子さんのご要望だったと思います。できればそうしたい

という。それで、一応そういう問題提起もあったものですから、私もどちらかというところでも良いかと思って、皆さんいかがですかという感じでした。いかがでしょうか。

(加茂委員)

私はずっとその色でも良いと思います。色がつきっぱなしの状態でも、別に白がなくても良いと思います。

(国吉部会長)

各委員、いかがでしょうか。

(小林委員)

別に10分・10分にする必要は全くないと思います。色がつきっぱなしでも割に淡い色なので、周りにも溶け込んでいるかなと思いました。

(国吉部会長)

野原委員、いかがですか。

(野原委員)

ちょっと判断つかないというのが正直なところなのですが、確かに梶山書記がおっしゃっていたように周りにしっかりうまく説明できないと、それこそ先ほどコレットマーレも厳しいという話があった時に、それに対してうまく全体をコーディネートするための説明の仕方は大事なかなと思いました。

(国吉部会長)

矢澤委員、いかがでしょうか。

(矢澤委員)

切替えにした理由が何かあるのであれば、その理由も考えなければいけないと思うのですが、それがよく分からないので、色としてはとても落ち着いていて、特に切替えの必要がないのであれば、エンターテインメント性からすると3色のままで良いのかなという気はします。

(国吉部会長)

横浜市の景観部局はどういう考えですか。

(吉田書記)

今回、3,000Kの基本的な色をベースにして、特別に3色の演出という具合でどうですかというご提案を差し上げました。その意味としては、やはりみなとみらい全体のベースとなるのが低層部は3,000Kというのがあったものですから、それを基本で、特別演出ということでご提案させていただいたのですが、委員の皆様は特別色の方が特に鋭過ぎず、それがベースで、それよりもエンターテインメント性を取った方があの地域としては良いのではないかなというご指摘であれば、その通りでもよろしいかと思っています。

(国吉部会長)

10分・10分で交互にやるのは、逆にうるさいという気は私はしました。10分待って見せるという、そこまで大げさにやるのかという感じも持ちます。日常的に見せてあげても良いかなと。そのときに、ずっとつけっぱなしではなくて、少しでも一旦切った方が良いという理由か何か、この地区のデザイン行政とか景観行政をやってきた上でその方が説明がつくというような理由等がありますか。それとも、それはないと考えますか。その辺はいかがですか。

(梶山書記)

基本的にはそれはなくて、3,000Kと言っているのも、通常、みなとみらい中央地区や新港地区で作っているような温かみのある照明を常時にしたいという調整をこれまでさせていただいていましたので、わざわざそのためにつくった照明の色が皆さん多分あまり良くないという評価だったかと思うのですが、それを死守したいということではないと思います。本来であれば、温かみのある3,000Kが実現できればそれが一番良かったかと思うのですが、なかなか今現実的に出すが難しいという中では、全体を通してどういった照明が良いかというところで判断していくことにはなると思います。そのときに、必ずしも色が変わらなければいけないとか、そういうことを条件にということではないかと思っています。

(国吉部会長)

分かりました。それでは、少し淡くした3色をメインに長くしていくということで、おおむね評価を得たようですが、リモートでご参加されている山家委員からご意見を賜りたいと思います。山家委員、いかがでしょうか。

(山家委員)

本日、現地確認に行けなくて申し訳ありませんでした。現場で実際見ていただいた委員の方々のご

意見を尊重したいと思います。今の議論を伺ってしまして、演出の方の色味がきれいで、そちらをメインにというお話であれば、それはそれでよろしいのかなと聞いておりました。

(国吉部会長)

ありがとうございます。その他について、全体については、見ていただけなくて残念だったのですが、本日の議論を聞いた結果も踏まえて、何かご意見を頂ければと思います。 Gondolaとか、駅舎、運河パークについても、そちらについてはおおむね良いかなと。

(山家委員)

Gondola全体のご意見に関しても皆さんと同じで、周辺に溶け込んでいる、特に集合住宅等への影響も非常に少なそうであって、蛍のようにちらちらとした感じも好ましいというご意見が多かったかと思えます。運河パークについては特段違和感もないというご意見が多かったように思いますので、全体として今、皆さんがご議論いただいた方向に私は特に異論ありません。

(国吉部会長)

どうもありがとうございました。

(梶山書記)

ご質問です。先ほど来申し上げていた3,000Kというところでこだわっていたのが、通常そういった協議をしているということがあったのですが、今回なかなか、周辺の色温度の3,000Kが今は出せていないということだと思います。調整としてそういったことが、本来であれば、先ほど言った周辺に同化したような3,000Kの色を通常時に出していただければ一番良いかと思うのですが、その可能性が基本的には難しいのかということの確認です。あともう一つ、今回演出していただいたものは、演出Bということでもよろしいのですよね。

(泉陽興業株式会社)

はい。そうです。

(梶山書記)

なので、調整として、ずっと演出Bでいくというのものもあるかもしれませんが、もう少し白を混ぜるというような、それは3,000Kとは違うかもしれませんが、そういったことも含めてどういった形が良いかというところを、まずは3,000Kというのが本日出した色以外でなかなか難しいかというところの確認です。

(株式会社石井幹子デザイン事務所)

基本的に3,000Kに近づけるために何度かトライしてまして、通常ですとRGBで単色の3,000Kとか、それは3,000Kに限らず5,000Kだったとしても、人間の目で見てどんぴしゃに合うものはなかなか作りづらいところがあります。割と寄せた方なのかなと思っています。

(国吉部会長)

全体として、あまり変化が大きいのは演出し過ぎみたいな感じで、街の景観としては課題がかえって出てくるのではないかと思います。ですから、非常におとなしくしてもらっていますから、かえって景観としては良いかなという感じがいたします。間に3分挟むとかいろいろあるのですが、それはそれなりにまたそこがうるさくなってきたりするので、ちょっとご提案、検討いただけないかということがあったものですから私も考えたのですが、それで各委員に諮ってみました。それで、おおむね色彩、光の色としては落ち着いた雰囲気が出せているということで、変に間に挟まないで継続するというので進めていただければと思いますが、各委員、よろしいでしょうか。

(異議なし)

(国吉部会長)

それでは、そういうことでまとめさせていただきたいと思います。事務局、何か課題等はありませんか。

(吉田書記)

大丈夫です。

(国吉部会長)

3つの点について、1つ目、2つ目のGondolaと運河パーク側の駅舎については、おおむね現地で確認してよろしいと。それから、桜木町の駅舎については、最終的に本日提案があった白を混ぜた光は非常に落ち着いてきているということで、かつ、10分交互にやるという案でしたが、それは少しうるさいので、継続して落ち着いた方の色で行うということ。場合によっては、ところどころ切るとい

	<p>うのは構いませんが、原則として継続する感じで進めるべきではないかという結論としたいと思いません。なお、加茂委員からも意見がありましたが、いろいろ周りで、市として何か光でもって社会的メッセージを出そうというようなことが出てくるときに、そこに歩調を合わせるとか、そういうことも場合によってはお願いすることが出てくるかもしれない。それは柔軟性を少し持って対応していただければという感じだったと思います。それは検討事項ということで、今後その可能性はしっかり残してありますということでしたので、その辺は確認したということではいかかだと思います。ゴンドラそのものが横浜の中にどう溶け込むのかというのは課題でいろいろな意見があったのですが、特に夜景はあまり強くなく、新しい景観として楽しんでもらえるかもしれないという期待感もありました。それでおおむね本日の審議会の議論は終わったと思いますが、以上のまとめでよろしいでしょうか。</p> <p>(原田係長)</p> <p>「白を混ぜた光」というのは、資料の最後のページの、真ん中のブルーで塗っている演出Bということで大丈夫でしょうか。</p> <p>(国吉部会長)</p> <p>最後に見たものですね。</p> <p>(原田係長)</p> <p>現地で2番目に見ていただいたものです。</p> <p>(国吉部会長)</p> <p>それで大丈夫です。</p> <p>(原田係長)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>(国吉部会長)</p> <p>それでは、本日寒い中での現地検証とここでの議論を踏まえて方向性が出たと思いますので、景観審査部会としてはこれで終えたいと思います。では、事務局にお返しします。</p> <p>(吉田書記)</p> <p>ありがとうございました。それでは、本日につきましては部会長がおっしゃったようなまとめとなって、基本的には了承ということではよろしいですね。ありがとうございました。</p> <p>議事2 その他 なし</p> <p>閉会 (吉田書記)</p> <p>それでは、私から次回の景観審査部会についてのご案内を申し上げますが、現在、別に日程調整をさせていただいてございます。日程調整がまとまりましたら、皆さんに改めてご連絡を差し上げますので、また次回よろしく願いいたします。</p> <p>また、本日の議事録につきましては、横浜市都市美対策審議会の事務要領に基づきまして、作成後に部会長にご確認いただいた上で公開とさせていただきますので、ご了承いただきたいと思います。</p> <p>それでは、これをもちまして第62回都市美対策審議会景観審査部会を終了といたします。長い時間ありがとうございました。</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第、参加者名簿、座席表 【議事1】資料1 (仮称) 横浜ロープウェイプロジェクト《YOKOHAMA AIR CABIN》 ～「夜間景観」(現地ご確認)について～
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事録については、部会長が確認する。 ・次回開催の日程等は、別途個別に日程調整する。